

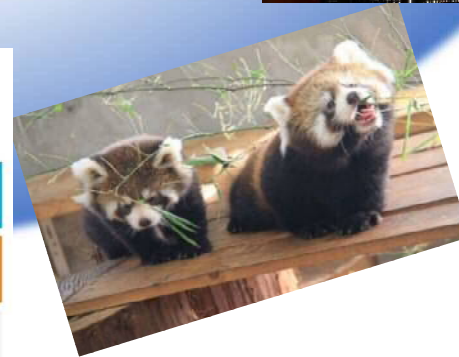
都市ビジョンと 財政状況

令和3年10月
静岡市



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

静岡市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



目次

第1部 静岡市の都市ビジョン

プロフィール

アクセス、温暖な気候(交通、気候)	1
広域な市域、人口(面積、人口)	2
広域な都市圏の中心(静岡大都市圏及び商圏人口)	3
バランスのとれた産業の集積(産業構造、商業の集積)	4
地域に根づく企業(市内に立地する主な企業)	5

第3次静岡市総合計画

5大構想～世界に存在感を示す3つの都心づくり～

5大構想～生活の質を高める2つの仕組みづくり～

静岡市のSDGs推進に向けた取組

新型コロナウイルス感染症対策

国土強靱化の取組

地方創生の取組

産業振興の取組

行財政改革の推進

第2部 静岡市の財政状況

決算

決算の概要(普通会計)	21
決算の推移(普通会計)	23
市税の状況	25
扶助費及び投資的経費の政令市比較	26
財政指標・健全化判断比率の推移	27
基金残高の状況	28

市債の状況

市債発行の推移(普通会計)	29
市債残高の推移(普通会計)	30
プライマリーバランスの推移(普通会計)	31

投資的経費の推移

財政の中期見通し

【表紙の写真(SDGsポスターから時計回り)】

- ・日本有数の茶どころ 静岡の茶畑のティーテラス「茶の間」
- ・模型の世界首都 静岡「プラモニユメント」
- ・リニューアルした駿府城公園 東御門と「葵舟」
- ・静岡の街がフランスに染まるシズオカ×カンヌウィークのマルシェ
- ・静岡まつり～駿府大御所時代絵巻～の大御所花見行列
- ・自然と触れ合う体験型の都市緑地「あさはた緑地」
- ・富士山を一望できる「日本平夢テラス」
- ・静岡のソウルフードおでんを楽しむ冬を彩るイベント「しぞ～かおでん祭」
- ・徳川家康公をお祀りする全国東照宮の創祀「久能山東照宮」
- ・国内の繁殖管理をしている「レッサーパンダの聖地」静岡市

第1部 静岡市の都市ビジョン

プロフィール ～アクセス、温暖な気候～

交通環境

優位なアクセス環境

供用開始

- 中部横断自動車道(新清水JCTー双葉JCT間)
令和3年8月29日全線開通
(静岡、山梨両県庁間の所要時間が約70分短縮)
- 日本平久能山スマートインターチェンジ
(静岡ICー清水IC間に令和元年9月14日供用開始)
- 東海道新幹線
- 清水港[国際拠点港湾]コンテナ取扱量8位(令和2年度)
- 駿河湾フェリー「県道223(ふじさん)号」(清水港⇄土肥港)
- 東名高速道路、新東名高速道路
- 富士山静岡空港



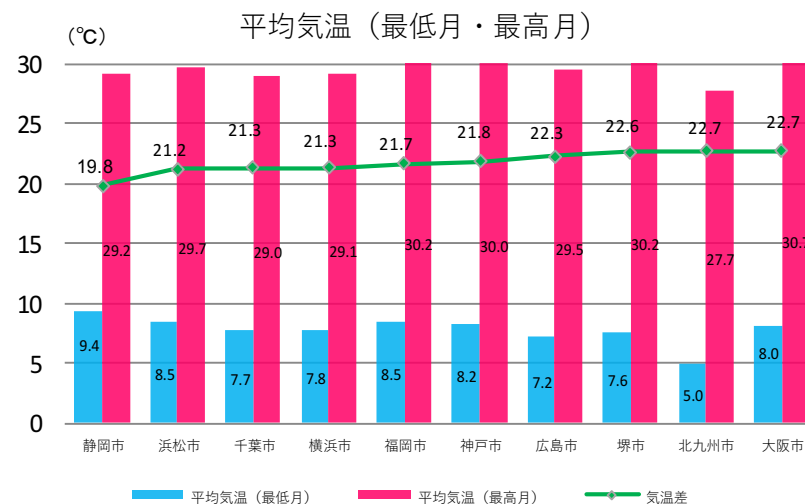
静岡市

気候(令和2年度)

温暖な海洋性気候、豊富な日照量

- 年間平均気温 17.8℃
- 年間平均気温差 19.8℃
..平均気温の最低月、最高月の気温差が政令市中最も小さい
- 年間日照時間 2,245.1時間...政令市中2番目に長い
- 年間雪日数 0日...政令市中最も少ない

出典: 気象庁「気象観測データ」(令和2年度)



プロフィール ～広大な市域、人口～

面積

全国市区町村で6番目、
政令指定都市では2番目の広さ

- 市域面積 約1,412km²
- 都市計画区域面積 約 235km²



静岡市

人口

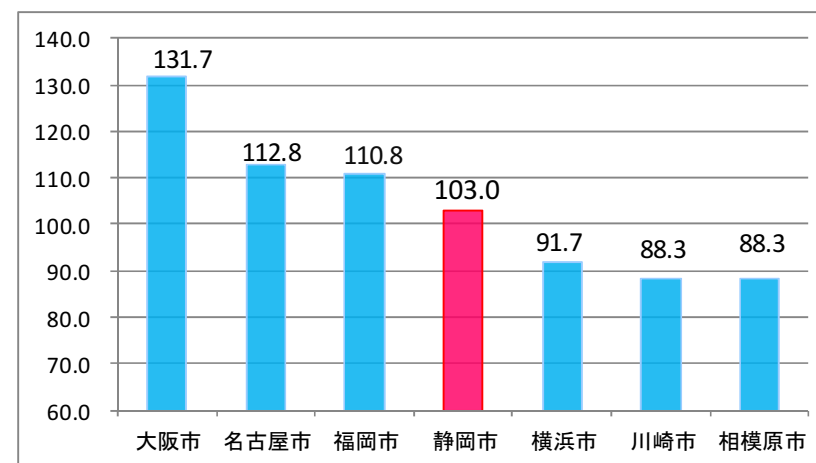
人口 690,869 人
(住民基本台帳人口(日本人+外国人))

※令和3年8月末日現在

昼夜間人口比率 103.0
(政令指定都市中第7位)

※総務省「国勢調査」(平成27年度)

% 昼夜間人口比率の政令指定都市比較



プロフィール ～広域な都市圏の中心～

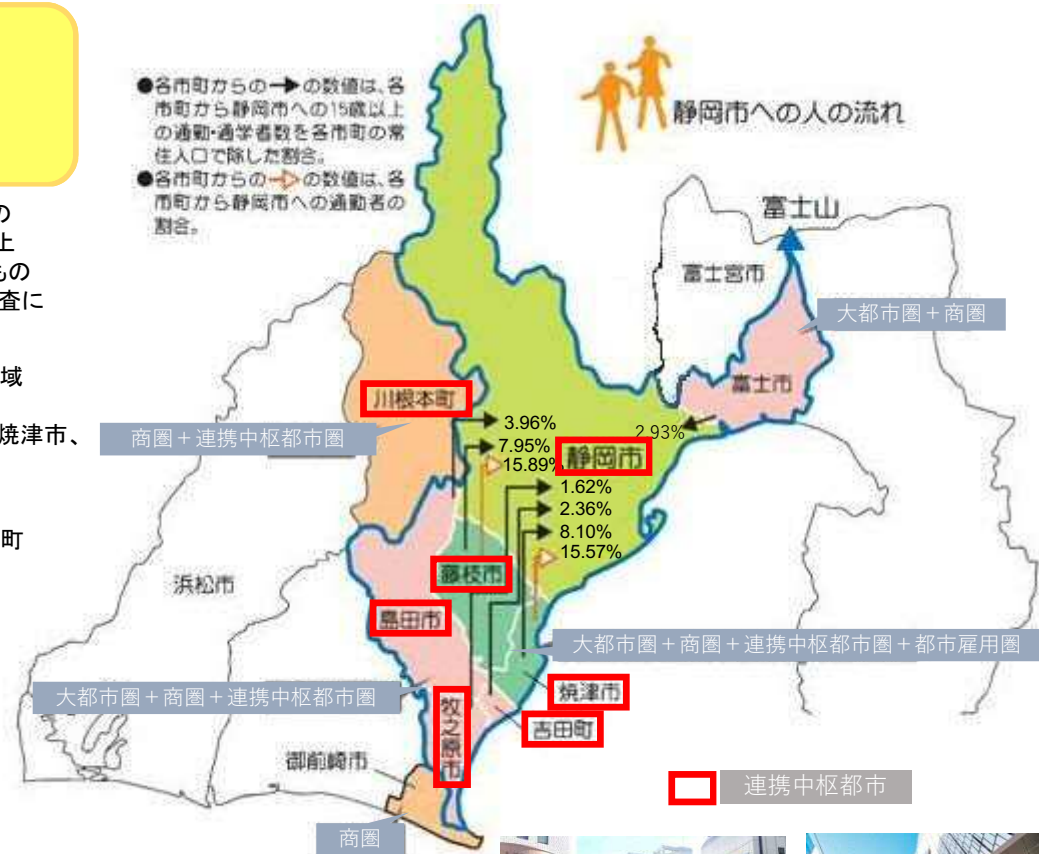
静岡大都市圏及び商圈人口

大都市圏人口 約138万人
 商圈人口 約158万人

- ※大都市圏 中心市(静岡市)に加え、中心市への15歳以上の通勤・通学者が当該市町の常住人口の1.5%以上あり、かつ 中心市と接続している市町を加えたもの(大都市圏の範囲については、平成17年国勢調査における大都市圏に基づく)
- ※商圈 消費需要(購買力)の5%以上を吸引している地域
- ※連携中枢都市圏 静岡県中部5市2町(静岡市、島田市、藤枝市、焼津市、牧之原市、吉田町、川根本町)
- ※都市雇用圏 通勤者のうち10%以上が静岡市に通っている市町

商圈の核となる中心区域に
 立地する主な大型商業施設

松坂屋	24,372㎡
静岡伊勢丹	21,525㎡
静岡パルコ	22,036㎡
新静岡セノバ	27,765㎡
マークイズ静岡	30,000㎡



資料：○総務省「国勢調査」(平成27年度)
 ○静岡県「静岡県の消費動向」(平成19年)
 を基に算出



けやき通り、呉服町通り(葵区)



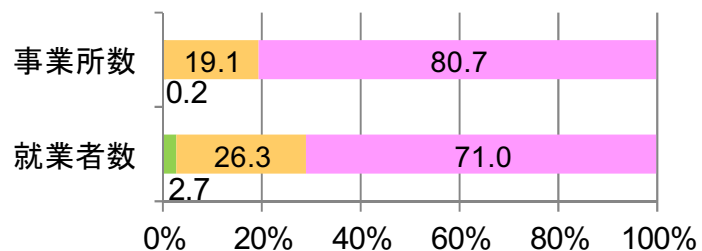
静岡市

プロフィール ～バランスのとれた産業の集積～

産業構造

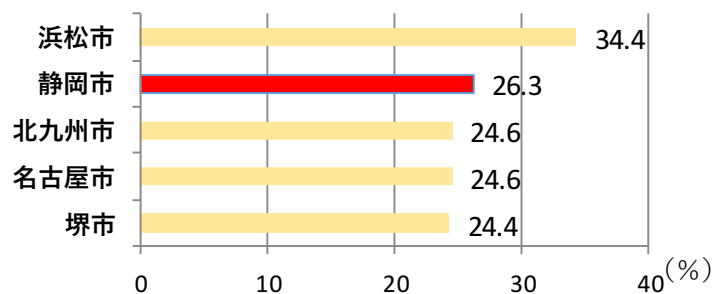
- 第3次産業の商業を中心とした都市
- 清水港周辺を中心とした製造業の立地が多く、第2次産業の割合も高い。
- 茶、みかんを中心とした第1次産業

事業所数・就業者数



出典：総務省「平成28年経済センサス活動調査」
「国勢調査」(平成27年)

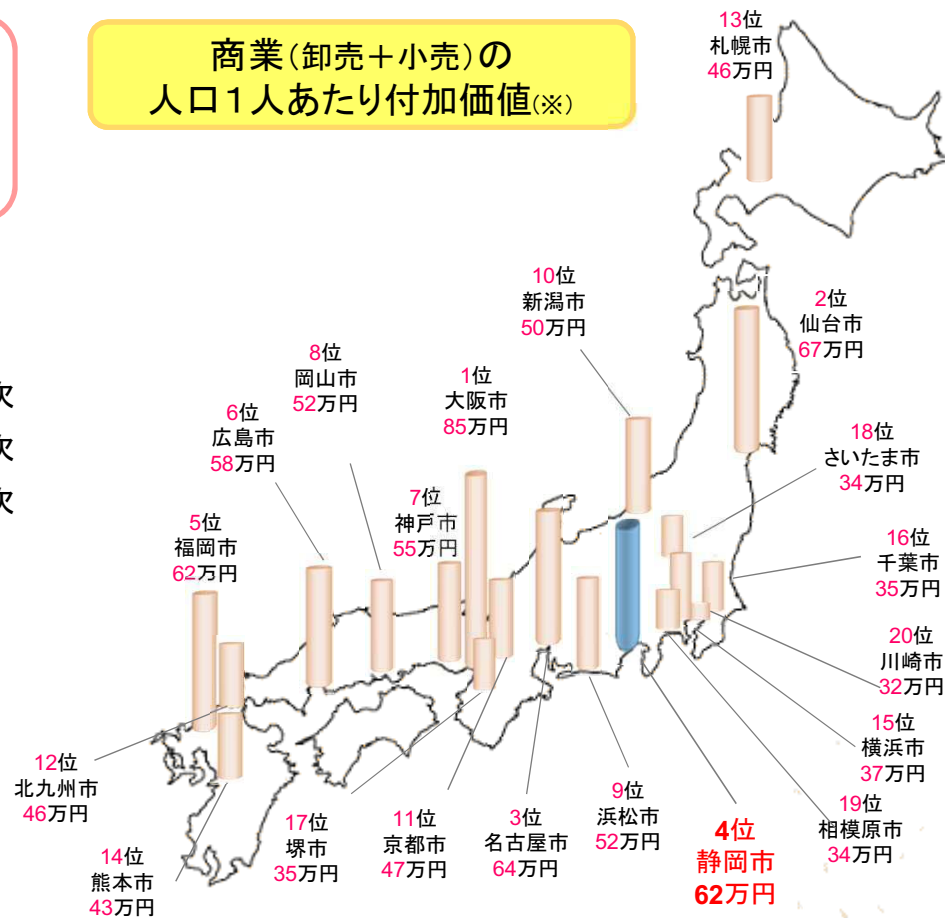
第2次産業就業者数 構成比



出典：総務省「国勢調査」(平成27年)

商業の集積

商業(卸売+小売)の 人口1人あたり付加価値(※)



※付加価値額：
「売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課」で算出され、商業における営業利益と人件費などの合計。
付加価値が大きいことは、顧客吸引力のある商業都市であることを表し、安定した雇用と税収が確保できる。

資料：総務省「平成28年経済センサス活動調査」、「国勢調査」(平成27年) より算出



静岡市

プロフィール

～地域に根づく企業～

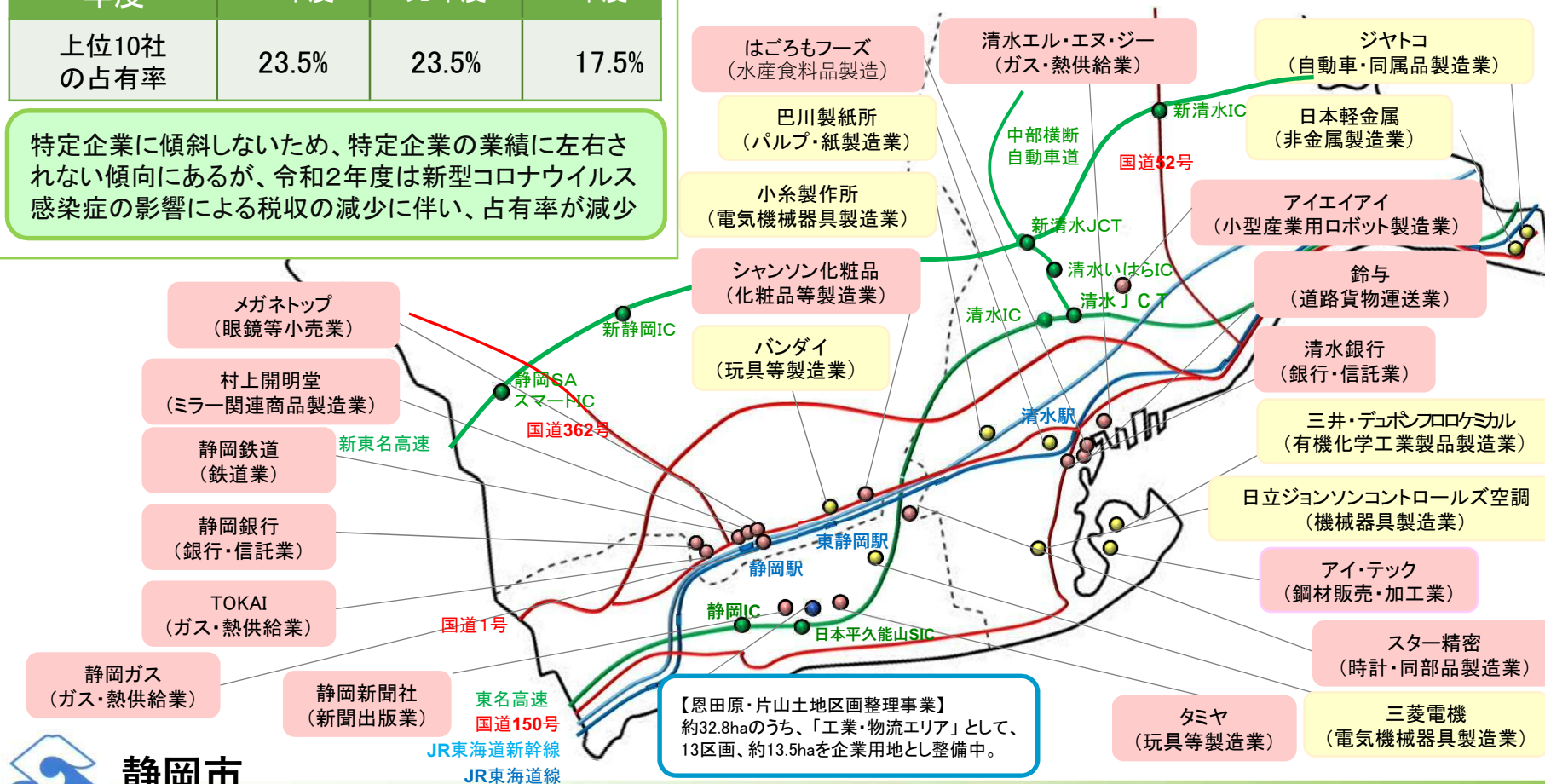
市内に立地する主な企業

法人市民税収全体に占める
上位10社の割合

年度	30年度	元年度	2年度
上位10社の占有率	23.5%	23.5%	17.5%

特定企業に傾斜しないため、特定企業の業績に左右されない傾向にあるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による税収の減少に伴い、占有率が減少

- 本社を置く企業
- 製造拠点を置く企業



静岡市

第3次静岡市総合計画（平成27年度～令和4年度）

3次総のまちづくりの目標 「世界に輝く静岡」の実現

平成27年度 重点プロジェクト（18政策）

「創造する力」による都市の発展（産業・経済の振興）

「つながる力」による暮らしの充実（安心・安全の確保）

歴史都市

- ① 400+プロジェクトの推進（駿府城公園エリアの整備等）
- ② 「東海道歴史街道」（二峠六宿）の推進
- ③ 三保松原の保全と活用

文化都市

- ① 東静岡・草薙地区の賑わい創出
- ② 清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進
- ③ 「まち劇場」の推進とオクシズ・しずまへの振興

中枢都市

- ① 首都圏等からの移住・定住の促進
- ② MICEの推進等による交流人口の拡大
- ③ 戦略産業への支援・育成

健康都市

- ① 健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築
- ② 静岡型子ども・子育て支援の推進
- ③ 健康都市の実現に向けた基盤整備

防災都市

- ① 災害対応力の強化と危機管理体制の確立
- ② 浸水・土砂災害の拡充
- ③ 再生可能エネルギーの導入・普及促進

共生都市

- ① 多様な人々による共生
- ② 南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生
- ③ まちづくりは人づくり・シチズンシップ

世界を意識した都市ビジョンをわかりやすく整理

18政策 → 5大構想へ

平成28年度 5大構想

世界水準の都市「静岡市」を目指して

その都市に暮らす人々が「安心感」をもって生活を営むことができ、その都市を訪れる人々が「満足感」をもってひとときを過ごすことができる都市。この「安心感」と「満足感」を兼ね備えた世界水準の静岡市づくりに取り組みます。その原動力とするために強く打ち出したのが＜5大構想＞です。

世界に存在感を示す3つの都心づくり

歴史文化の
拠点づくり

海洋文化の
拠点づくり

教育文化の
拠点づくり

生活の質を高める2つの仕組づくり

「健康長寿のまち」
の推進

「まち劇場」
の推進

3次総と親和性のあるSDGsを
5大構想に取り込む

平成30年度



SDGs

世界共通のものさし
(2016～2030)



静岡市

5大構想 ～世界に存在感を示す3つの都心づくり①～

歴史文化の拠点づくり

徳川家康公が晩年暮らした駿府城公園周辺の魅力を高める取組を通じて、来街者の増加や地域活性化を図り、「平和都市・静岡」を世界に向けてアピール。



駿府城跡天守台発掘調査・見える化の推進



発掘調査と
野外展示予定地

駿府城天守台の正確な位置や大きさ、石垣の状態等を把握するため、平成28年8月から発掘調査を開始し、大御所家康が築いた日本一の大きさの天守台や、豊臣秀吉の関与をうかがわせる天守台と小天守台、金箔瓦の発見等の成果があった。発掘現場は常時見学できるよう「見える化」し、観光資源としても活用している。

今後は、「静岡市歴史博物館」と連携した野外展示と位置づけ、保存と活用を両立させた整備を推進する。

お堀の水辺活用事業

駿府城公園の中堀において、舟で遊覧できる環境を整備し、駿府城公園周辺エリアの新たな歴史観光コンテンツの一つとして、静岡都心の賑わいを創出する。

令和3年3月27日運航開始



運航を開始した「葵舟」

歴史文化施設等整備事業

本市への愛着と憧れを生む、歴史文化の拠点づくりの核として、家康公の一生や今川氏の全てがわかる全国初の博物館「静岡市歴史博物館」を整備。

令和5年1月開館予定

歴史博物館の分館として位置付けられた、東御門・翼櫓は改修を実施。駿府城のルーツから今に至るまでの模型や映像、出土品などを展示することで賑わいを創出する。

東御門・翼櫓
令和3年4月1日リニューアル



「静岡市歴史博物館」整備イメージ



東御門 展示スペース

追手町音羽町線等にぎわい空間の創出

駿府城公園と中心市街地を繋ぐ市道について、「歴史文化への誘い道」として魅力ある道となるよう、市民の憩いの場となる「駿府ホリノテラス」を整備。官民連携でカフェ等を設置することで、にぎわいを創出し、歩いて楽しいまちづくりを推進。

都市再生推進法人の活用により賑わいを創出



「駿府ホリノテラス」

令和3年3月27日オープン！



静岡市

5大構想 ～世界に存在感を示す3つの都心づくり②～

海洋文化の拠点づくり



清水港周辺に集積する行政や企業等が連携し、海洋関連産業の振興を推進し交流人口の増加や地域の活性化を図ることで、国内外から人々が訪れる「国際海洋文化都市」の実現を目指す。



【にぎわい】
「観光やMICEによる
ウォーターフロントの活性化」

【研究開発・産業振興】
「海洋産業イノベーション
の推進」

【人材育成】
「将来の海洋人材の
集積・育成」



清水駅東口・江尻地区

清水駅東口と江尻港を中心に公共交通に恵まれた地区であり、桜ヶ丘病院(移転予定)や清水文化会館「マリナート」、駅西口中心市街地と一体で清水区の中心を形成。新設するフェリーターミナルや、近接する河岸の市を活用し、賑わいの創出を図る。



江尻港(河岸の市)の現況

新興津地区

埋立地では、コンテナ埠頭とともに、漁港や人工海浜等を整備し、釣り、飲食、スポーツ及び海水浴の利用促進を図る。

また、人工海浜については、JR興津駅から徒歩圏内の海水浴場となり、周辺や沿道の活性化が期待できる。



人工海浜整備イメージ

日の出・巴川河口地区

日の出・巴川河口地区は、港町の礎を築いた清水港の歴史的な中心地区であり、国際交流拠点と海洋研究拠点の形成や、臨港道路、埠頭上屋及び倉庫、歴史的石造倉庫などの港湾インフラの保全活用により、清水独自の魅力向上を促す。



日の出地区の現況

海洋文化施設整備事業(日の出地区)

「国際海洋文化都市」の実現に向け、世界に存在感を示す都心づくりを進めるため、地区の核となる(仮称)海洋・地球総合ミュージアムの整備を推進。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業の見直しを行う必要が生じたため、今後、感染症対策などの新たな課題に対応した運営面、施設面の両方の見直しを図りつつ、PFI事業成立の環境の目途が立った段階で、事業再開を目指す。
(事業再開は未定)



整備イメージ



静岡市

5大構想 ～世界に存在感を示す3つの都心づくり③～

教育文化の拠点づくり



静岡大学、県立大学、常葉大学など大学が集積するJR東静岡・草薙駅周辺地区では、すべての人が高い教育を受けることのできる機会を創出し、地域経済の活性化を図るとともに、多くの若者が集まり、交流が生まれるまちを目指す。

JR草薙駅周辺整備事業

JR草薙駅の利便性を図るため、これまで駅舎や駅前広場の整備を実施。

令和4年度に供用開始予定の北口駐輪場に、学生と地元住民の「賑わい交流拠点」として、芝生広場を整備したことで、さらなる賑わいの創出を目指す。



北口広場のイベント活用

東静岡「アート&スポーツ／ヒロバ」

3次総で文化・スポーツの拠点として位置付けた東静岡市有地(2.5ha)について、「賑わいづくりの実験場」として利活用するための基盤整備及びローラースポーツ、アート、ホビーイベント等の展開を推進。



「アート&スポーツ／ヒロバ」の様子

スケートボード：
東京2020オリンピック競技大会
正式種目

「まちは劇場」の推進



静岡に根付いた大道芸や演劇・音楽などの文化・クリエイティブ活動を活かし、「わくわくドキドキ」するまちづくりを進め、ここに暮らす誇りと喜びを感じることのできるまちに成熟させる。

賑わい創出イベント推進事業

大道芸ワールドカップ、富士山コスプレ世界大会など、様々なイベントを通じて、国内外から多くの人々が訪れ、活発な交流が行われるまちの実現を目指す。



ナイトツーリズム推進事業

日本平からの夜景をはじめとする夜の観光資源の充実を図るとともに、夜間イベントの内容を充実させるなど、本市の魅力をアピールし、夜の賑わいを創出。



夜の日本平夢テラス

城北公園Park-PFI制度活用事業

城北公園が持つ多機能性を更に高めるために、駐車場の整備や、民間事業者のアイデアを活用しながらカフェなどの飲食施設の設置を検討することで、地域の賑わい創出を図る。



公園内カフェ社会実験の様子



静岡市

5大構想 ～生活の質を高める2つの仕組づくり～

「健康長寿のまち」の推進



人生100年時代を見据え、あらゆる年齢の人が住み慣れた地域で、いつまでも健康で人生を楽しむことができ、自分らしく暮らすことができるまちを実現する。

生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業

シニアをはじめとして地域の誰もが、健康でアクティブな生活や社会活動への参加などを通じて、生涯活躍できる環境づくりに取り組み、住み慣れた地域でできる限り健康で自分らしく暮らすことができる「健康長寿のまち」を推進する。

令和3年8月
「ココファン静岡南八幡」オープン



南八幡地区地域・多世代交流型住宅
「ココファン静岡南八幡」

はつらつスマイル推進事業

「感染症に負けない健康づくり」として、循環器や呼吸器など多くの臓器で慢性疾患の危険因子となり得る歯周病の対策をはじめ、歯と口の健康づくりを推進することにより、「健康長寿のまち」実現を目指す。

はつらつスマイルプラン
(令和3年3月策定)



歯周病検診の様子(イメージ)

成年後見制度利用促進事業

認知症の高齢者が増加するなか、市民が認知症などにより判断能力が低下しても、地域で安心して自分らしく生活を営めるよう「静岡市成年後見支援センター」を令和2年7月に開設した。同センターでは、市民後見人の育成とともに、相談機能の一層の充実を図る。

令和2年度相談実績:814件



相談の様子

認知症ケア推進体制整備事業

認知症に係る個別相談や専門機関との連携等を図るとともに、認知症予防を含めた認知症ケアの研修・研究等を行う産学官民が連携する拠点として、市内の中心市街地に認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」を開設。

認知症になっても、希望をもって暮らし続けることができるよう、本人や家族、全世代に向けた認知症への理解促進を図る。



認知症ケア推進センター
「かけこまち七間町」

令和2年10月31日オープン
来場者数: 1,388人
(令和2年11月～令和3年9月)



静岡市

静岡市のSDGs推進に向けた取組 ～持続可能なまちづくりのために～



静岡市 5大構想 × SDGs

「SDGs未来都市」・「SDGsハブ都市」に選定

アジア初の「SDGsハブ都市」に選定

平成30年5月の2018国連ニューヨーク本部SDGs推進会議で本市の普及啓発の取り組みが評価され、7月のハイレベル政治フォーラムにて、アジア初の「SDGsハブ都市※1」に位置付けられた。これを契機に「SDGs普及啓発」と国連と連携した「世界への情報発信」をさらに推進。

平成30年6月15日、政府からSDGs未来都市※2に選定。

※1 ハブ都市

SDGsの推進に向け、世界の地方政府による取組みを誘引するために、情報発信を含め、先進的な活動を行う都市

※2 未来都市（国内124都市）

SDGsを推進しようとする都市の中で、特に経済・社会・環境の3側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市



静岡市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



SDGs普及啓発への取組

平成30年5月30日に 静岡市長 田辺 信宏 が国連ニューヨーク本部SDGs推進会議に出席。SDGsの考え方を本市の施策に反映させる取組についてスピーチ（自治体として初）し、SDGsと市民との距離感を近づけていくことを自らのミッションとして表明。

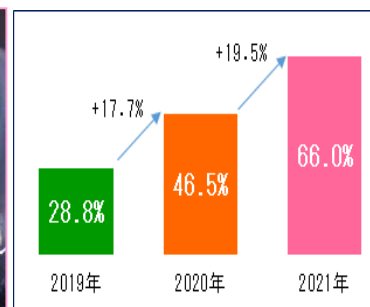


平成30年5月 国連ニューヨーク本部でのスピーチ



平成30年6月 SDGs未来都市選定証授与式（首相官邸）

SDGs市民認知度調査



各種の施策において、SDGsの推進を図ったことで、令和2年度の市民認知度は目標の50%を上回り、66%となった。

©SDGs推進 TGC しずおか 2020 by TOKYO GIRLS COLLECTION



静岡市

静岡市のSDGs推進に向けた取組 ～持続可能なまちづくりのために～



SDGs Week! Month! Season! これまでも！これからも！静岡市のSDGs推進

「世界に輝く静岡」の実現を目指す取組として、平成30年度の「SDGs Week」、令和元年度の「SDGs Month」と年々期間・規模を大きくしていきながら、SDGsの普及啓発に取り組んできた。最終年度となった令和2年度は、「SDGs Season」と位置づけ、普及啓発を推進。



静岡市SDGsフォーラム

項目	内容等
日時	令和3年3月14日(日) ※オンライン開催
概要	国内外のSDGs推進のキーパーソンがオンラインで一堂に会し、これまでの静岡市の取組や成果を振り返りつつ、国内外の先進的な事例やこれからの行動に向けたヒントを共有・発信



静岡市SDGs展示イベント

項目	内容等
日時	令和2年12月21日(月)から 令和3年1月29日(金)まで
概要	SDGs未来都市(53都市)、SDGs宣言事業所・団体(45先)、市内大学・高校・中学校(7校)、庁内各課と連携し、それぞれの取組や学習成果について展示



2021静岡市成人式

2021静岡市成人式実行委員会のメンバーが、SDGsを学び、自分たちがSDGsの達成に貢献できる「行動」として、新成人発信のエコバッグを作成し、新成人へ配布。「環境に配慮しつつ、使い続けられるものを」という思いを込め、自分たちが考えたデザインを街頭・オンラインで市民投票を実施。

項目	内容等
日時	令和3年1月3日(土) ※オンライン開催
概要	○新成人作成「エコバッグ」の披露 ○お笑いコンビ「ミルクボーイ」による「SDGs漫才」の披露



静岡市

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、本市では、市民の生命を守ることを最優先にした「生命(いのち)のLife」と、日常を取り戻すための「生活(くらし)のLife」という2つの「Life(ライフ)」を守るための対策を実施。

いのち Lifeを守ろう

市民の安全・安心確保

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業
ワクチンの円滑な接種に必要な経費を確保
- 新型コロナなんでも相談ダイヤル開設
医療・生活・福祉・経済などあらゆる相談を総合的に受付
- 在宅ドクターサポート事業
自宅療養する患者等への適時適切な治療に結び付ける取組を強化



くらし Lifeを取り戻そう

地域経済の活性化①

- 消費活動の拡大
 - ・モバイル決済サービスを活用した地元消費拡大促進事業
(モバイル決済サービス事業者と連携したポイント還元キャンペーンを実施)
 - ・地域消費促進キャンペーン事業
(対象店舗で1,000円以上の買物をした方に抽選で豪華地場産品をプレゼント)
 - ・農産物地産地消拡大事業
(売上が減少した市内産農産物の地産地消の拡大に向けた農産物等の配付)



地域経済の活性化②

- 観光関連業者への支援
 - ・団体旅行等誘致事業
(貸し切りバスやタクシーを利用した市内を目的地とする旅行商品の造成・催行に対する助成)
 - ・地域型宿泊誘客事業費助成
(地域の課題に応じ、誘客や宿泊客受入に必要な事業に対する助成)
 - ・マイクロツーリズム推進事業
(県民を対象にした電車・バスのセット券や、体験観光施設の割引及び宿泊施設を対象としたスタンプラリーを実施)
- 中小企業への支援
 - ・エール静岡飲食業界支援金
(売上が減少している市内の中小企業及び個人事業主に、応援金10万円を支給)
 - ・事業者応援金支給事業
(「まん延防止等重点措置」及び「緊急事態措置」の影響を受け、売上が減少している事業者に対し、市独自に応援金を支給)(上限:法人10万円/月)



デジタル化の推進

- 小中学校学習用端末整備事業
ICTを活用した学習環境の整備のため、令和4年夏までに全ての小中学校における学習用端末を1人1台配備



総額 168.2億円

(一般会計 168.1億円)

※R3当初(15ヶ月)予算から
R3.9月補正までの合計額

(参考)

総額854.6億円(R2.9月補正時点)



静岡市

国土強靱化の取組

防災体制の強化

消防救急広域体制の確立

平成28年4月の静岡地域3市2町(※)による消防救急広域化後、スケールメリットを活かし、消防体制の整備・充実強化を図ることで、地域の安全・安心を確保する。



※静岡市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町

同報無線デジタル化の整備

災害時などに一斉に情報を発信できる同報無線は、整備から40年以上経過し老朽化が進んでいるため、機器を更新し、デジタル化に移行することで、可聴エリアの改善、文字伝達機能の付加、監視カメラによる現地映像のリアルタイムでの取得などを可能とした防災情報伝達手段を確保する。



同報無線デジタル化イメージ

災害発生時の情報収集体制強化

自然災害発生時にドローンを活用して土砂災害の被害状況等を情報収集を迅速に行い、危険個所の把握や市民の安全な避難誘導に活用できる体制を強化。



津波対策の推進

津波避難ビル指定の推進

津波避難ビルについては、東日本大震災以降、緊急津波対策事業において追加指定を推進。

〈指定の状況・延べ数〉

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
139 施設	142 施設	144 施設	147 施設	147 施設	148 施設	146 施設



津波避難タワー等の整備

津波避難タワー等については、緊急津波対策事業として、令和2年度の整備をもって、全19箇所を整備完了。

全19箇所で、8,410人の避難スペースを確保！

〈整備の状況・延べ数〉

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
6箇所	11箇所	14箇所	16箇所	18箇所	18箇所	19箇所 (完了)



浸水対策の推進

河川改修・雨水ポンプ場整備

ゲリラ豪雨や台風に強いまちを実現し、市民の大切な生命と財産を守るために、浸水対策推進プランに基づき、河川改修や雨水ポンプ場を整備。



河川改修



静岡市

地方創生の取組①

人口活力の維持及び持続可能なまちの実現

連携中枢都市圏(広域連携)事業の推進

静岡県中部地域の5市2町(静岡市、島田市、藤枝市、焼津市、牧之原市、吉田町、川根本町)の連携により、地域の強みを活かした観光商品の開発やプロモーションをはじめ、戦略的な観光施策などに取り組むことにより、圏域の一体的な発展を図る。



茶氷プロジェクト
市内21店舗が参加

<茶氷プロジェクト>

日本有数の茶所・静岡の夏を盛り上げる、お茶×かき氷のプロジェクト。
静岡のお茶をかき氷で味わえる夏ならではのスイーツ企画。

<茶の間>

茶畑から望む静岡の絶景を、淹れたてのお茶とともに味わう体験型プロジェクト。



茶畑の中に設置した茶席「茶の間」

テレワークを活かした移住の促進

市内のコワーキングスペース・シェアオフィスにてテレワークを体験した場合に、施設利用料や宿泊費、静岡までの旅費を補助する「お試しテレワーク体験」など、「仕事はそのまま、住まいは静岡」をキーワードに、テレワークを活用した移住促進を図る。



お試しテレワーク体験

静岡市移住支援センター

市としては全国で初めて、東京有楽町に「静岡市移住支援センター」を開設(平成27年4月)。

移住相談のほか、定期的に移住セミナーを開催するなど、主に首都圏在住者を対象とした移住をサポートしている。

令和2年度の静岡県への移住者数は、過去最高となり、なかでも最も多かった静岡市が、静岡県への移住促進を牽引した。



移住支援センターの様子



移住フェアへの出展

静岡県が2020年移住希望地ランキング1位
(認定NPO法人ふるさと回帰支援センター調べ)

<開設後センター経由の移住者実績>

※令和3年は8月現在

H28	H29	H30	R1	R2	R3※
52名 (29組)	88名 (38組)	47名 (23組)	49名 (25組)	63名 (26組)	12名 (8組)

新幹線通学費貸与制度の創設

大学進学による若者の地元就職を推進するため、県外大学等への通学費の一部を貸与する制度を創設。

- ・市内から県外に通学する学生に、一月最大3万円を貸与
- ・卒業後、市民税の所得割を完納するなどの条件を満たせば返還を免除



東京まで新幹線で60分

H30.4月	R1.4月	R2.4月	R3.4月
288名	393名	476名	503名



静岡市

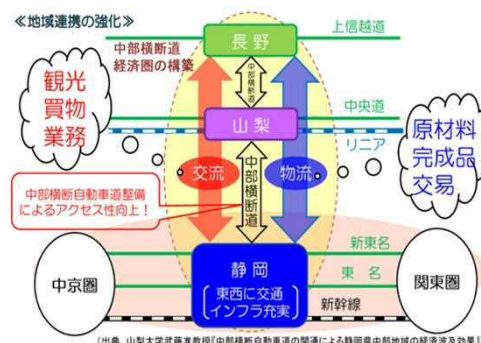
地方創生の取組②

人口活力の維持及び持続可能なまちの実現

中部横断自動車道の開通による南北軸の交流強化

中部横断自動車道の全線開通による移動時間の短縮により、甲信地方が今まで以上に身近な存在になり、ヒトやモノの交流が活発となるため、経済活動・観光産業の活性化が期待できる。

首都圏や中京圏に比べ、甲信地方から清水港へのアクセスが「近く、早く、安く」なるため、清水港を拠点とした港湾物流ネットワークの広域化も図られる。



企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)の活用

企業版ふるさと納税を活用することで、寄附企業側のメリット(税制控除等)だけではなく、市としても「静岡市まち・ひと・しごと創生推進計画」(R2.11策定)を推進していくうえで、寄附企業との連携を高め、地域課題の解決に向けた関係性構築を促す。



(仮称)トライアルパーク蒲原のイメージ

清水区蒲原に開設予定の「(仮称)トライアルパーク蒲原」の整備について、静岡市として初めて企業版ふるさと納税による寄附金を財源に活用

「コ・クリエーションスペース」創出事業

「産学官金」が組織の枠組みを超えて交流できる場を提供し、新たなビジネスチャンスや雇用、他業種とのマッチングなどが創出される交流・協創拠点を整備することで、市内経済の活性化・持続的な経済発展を促す。

令和3年8月2日オープン！

【将来像(例)】

市内企業×首都圏企業×学生→雇用の創出
市内企業(ベンチャー)×金融機関→資金調達



コ・クリエーションスペース

静岡型MaaS(マース)基幹事業実証プロジェクト

ICTによる公共交通サービスの高度化や、暮らし続けられるまちづくりに向けて、官民連携で「静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト」を組織し、実証実験を重ねMaaSの導入を目指す。

MaaSとは・・・出発地から目的地までの最適な移動手段を途切れなく提供する等、利用者にとって一元的なサービスとしてとらえる理念



タクシー配車システム

御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発事業

JR静岡駅北口の新たな「顔」づくりとして、防災機能の向上、静岡駅から新静岡駅までの歩行者導線の強化に加え、専門学校等を誘致することで、若者と周辺店舗との連携による新たな賑わい創出の拠点をめざす。

令和5年度末 整備完了予定



完成イメージ図



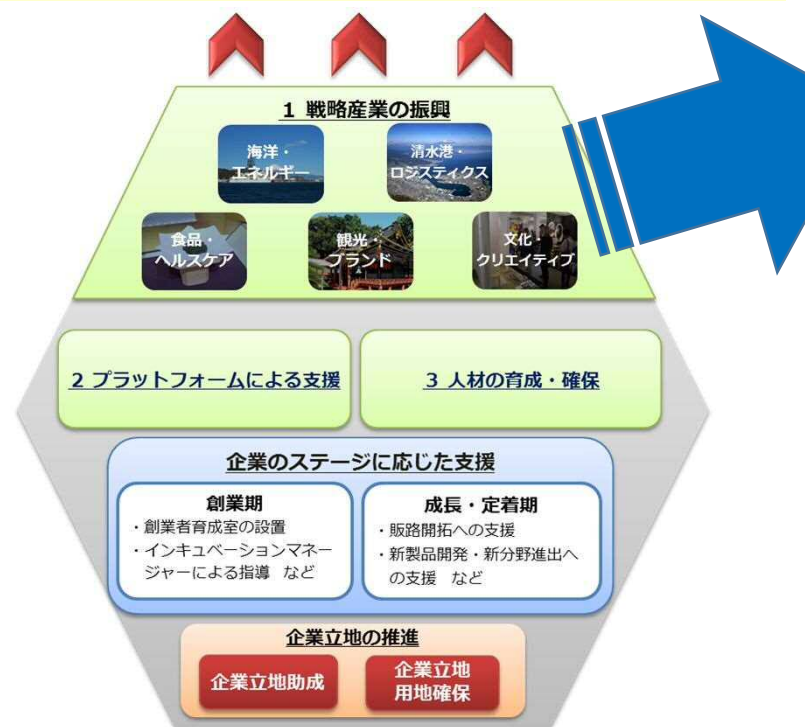
静岡市

産業振興の取組

第2次静岡市産業振興プラン

プランの目標(令和4年)

市内経済の活性化 → 市内総生産額 3兆2,140億円
雇用の創出 → 市内就業者数 343,100人



※戦略産業

社会経済環境の構造変化に直面し、今後も内外環境の一層の変化が予想される中、本市経済をけん引する力を秘めた産業を「戦略産業」と位置付けている。戦略産業の重点的な振興を通じて、その果実を本市の産業全体に広く波及させていく。

5つの戦略産業

海洋・エネルギー産業

■海洋産業クラスター創造事業
駿河湾という「海洋資源」、大学等研究機関の「知見」、清水港に関連した機械金属製造業や水産加工業等の「技術」を組み合わせ、海洋関連産業における静岡発の新事業創出を推進。



海洋研究開発機構
探査船「ちきゅう」

清水港・ロジスティクス産業

■ロジスティクス産業立地促進事業
東名高速道路、中部横断自動車道、清水港といった広域交通インフラ環境が整う本市の利便性・拠点性を活かし、首都圏などの貨物を本市に集める「貨物の誘致」に取り組み、ロジスティクス産業の活性化、新規物流施設の立地を促進する。



清水港に寄港するコンテナ船

食品・ヘルスケア産業

■中小企業海外展開支援事業
人口減少・高齢化社会の影響により国内市場が縮小していく一方、海外市場では東南アジアを中心に経済発展が進んでおり、販路拡大を進める企業が増加。この状況を踏まえ、市内企業の海外展開を促進するための輸出機会等の創出を支援。



各種缶詰

観光・ブランド産業

■「ホビーのまち静岡」推進事業
本市の地域資源であるホビーを活用し、組立前のプラモデルをイメージした「プラモニュメント」の設置をはじめ、本市が世界に誇るプラモデルをテーマに官民一体となったシティプロモーションを推進。



プラモニュメントと
静岡ホビーショー

文化・クリエイティブ産業

■若手クリエイター海外展開支援事業
次世代の文化クリエイティブ産業の担い手を育成するため、若手クリエイター(地場産業、伝統工芸の若手職人)と海外のデザイナーをマッチングさせ、試作品を製作し、若手クリエイターの海外展開を支援。



CCC(文化・クリエイティブ
産業 振興センター)での展
示

※5つの戦略産業には、主な事業を掲載



静岡市

行財政改革の推進① ～これまでの行財政改革の成果～

第1次行財政改革の成果(平成17～21年度)

職員数の減
420人

効果額
392億円

第2次行財政改革の成果(平成22～26年度)

職員数の減
165人

効果額
555億円

対象項目

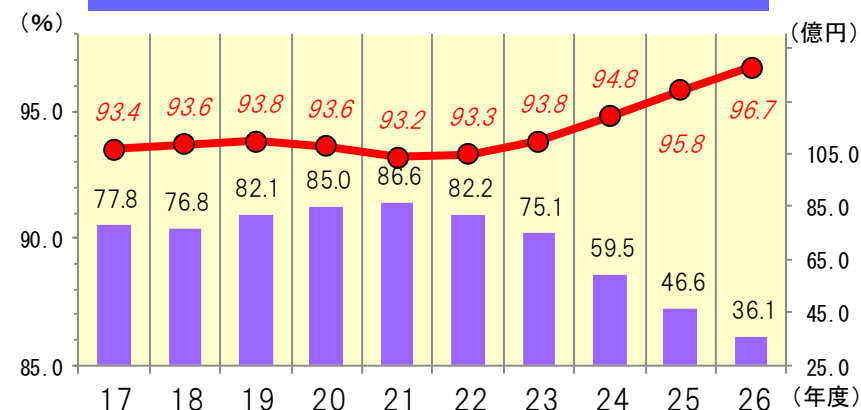
394項目

	効果額の主な内容	効果額
節減	給与制度改革・定員管理計画(人件費)	112億円
	事務事業の見直し・統廃合等	58億円
	補助金等の見直し	31億円
	民間活力の活用	24億円
	公共工事のコスト縮減等	236億円
収入増	未利用土地・建物等の売払い	25億円
	市税等の収納率の向上	11億円

正規職員の推移



市税収納率と収入未済額の推移



<収納率向上への取組>

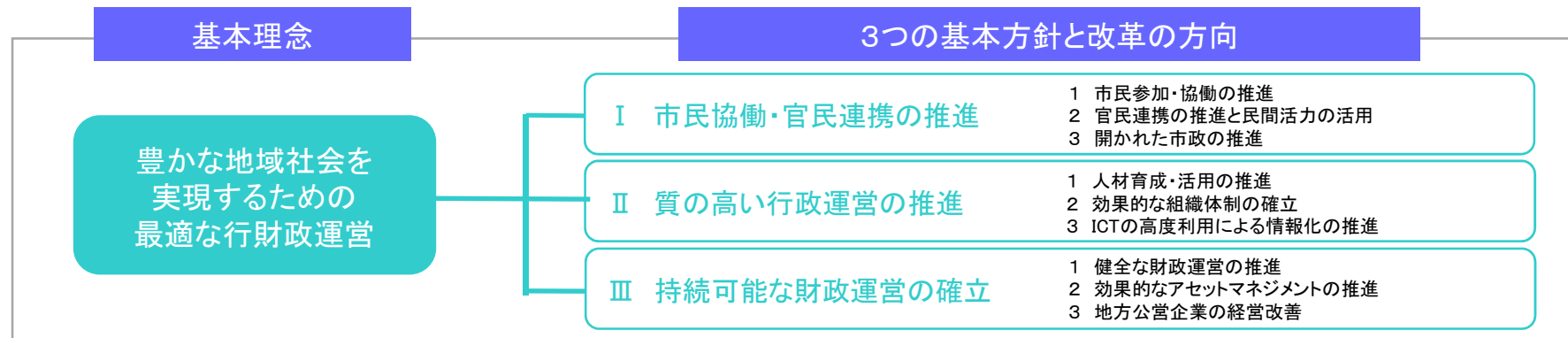
- ・滞納案件に対する早期対応の強化
- ・滞納整理事務スケジュールに沿った進捗管理の徹底
- ・専門部署を設け、不動産公売等を積極的に実施



静岡市

行財政改革の推進② ～これからの行財政改革の取組～

第3次行財政改革推進大綱(平成27～令和4年度)の概要



前期実施計画(平成27～30年度)及び後期実施計画(令和元～4年度)の主な取組と効果額

(百万円)

年 度		前期実施 計画効果額	後期実施計画					主な取組内容
			R1 実績	R2 実績	R3 見込	R4 見込	合計	
収入増額	計画額	11,054	1,375	1,939	2,307	2,590	8,211	○市税等の収納率の向上 ○競輪事業から一般会計への繰入 ○未利用地等の売却の推進 など
	実績額	13,553	2,108	1,741	—	—	3,849	
削減額	計画額	8,894	587	1,017	1,979	2,585	6,168	○施設等廃止等による維持管理経費の削減等 ○事務事業総点検表、2次評価等による事業見直し ○予算要求時のシーリングによる削減等 など
	実績額	9,264	395	1,115	—	—	1,510	
将来負担 の軽減	計画額	6,669	1,385	1,409	1,389	1,379	5,562	○アセットマネジメントの推進 (道路橋りょうの適切な維持管理 など)
	実績額	6,676	1,398	1,355	—	—	2,753	
合 計	計画額	26,617	3,347	4,365	5,675	6,554	19,941	
	実績額	29,493	3,901	4,211	—	—	8,112	
	達成率(%)	110.8	116.5	96.5	—	—	40.7	

行財政改革の推進③ ～これからの行財政改革の取組～

効果的なアセットマネジメントの推進

「静岡市アセットマネジメント基本方針」(H26.4策定)

基本方針1

総資産量の適正化

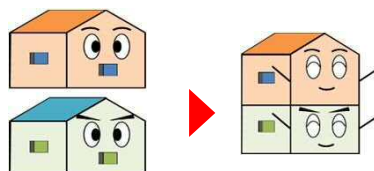
適正な施設保有量を実現するため
2043年度までに公共建築物の
総延床面積を20%縮減。

廃止



役割を終えた施設は…解体する

複合化



異なる施設を…一つの建物に

長寿命化



適正な維持管理の実施で…長持ちさせる

基本方針3

民間活力の導入

官民の役割分担を明確にし、民間企業
等の持つノウハウや資金調達により、
財政負担の軽減とサービス水準を向上。

民営化



民間へサービスを移管する

具体的な取組事例

飯田生涯学習交流館と飯田いほはら児童館の複合化(R3.7供用開始)

生涯学習交流館の移転新築に伴い、新たに
設置する児童館と複合化しつつ、建物全体の
規模の適正化を図った。

旧生涯学習交流館



新設



複合化



第2部 静岡市の財政状況

決算 ～決算の概要(令和2年度普通会計決算 歳入)～

歳入決算総額は4,098億円、前年度比881億円(27.4%)の増。

市税は1,398億円で28億円(2.0%)の減。市債は422億円で29億円(7.4%)の増。

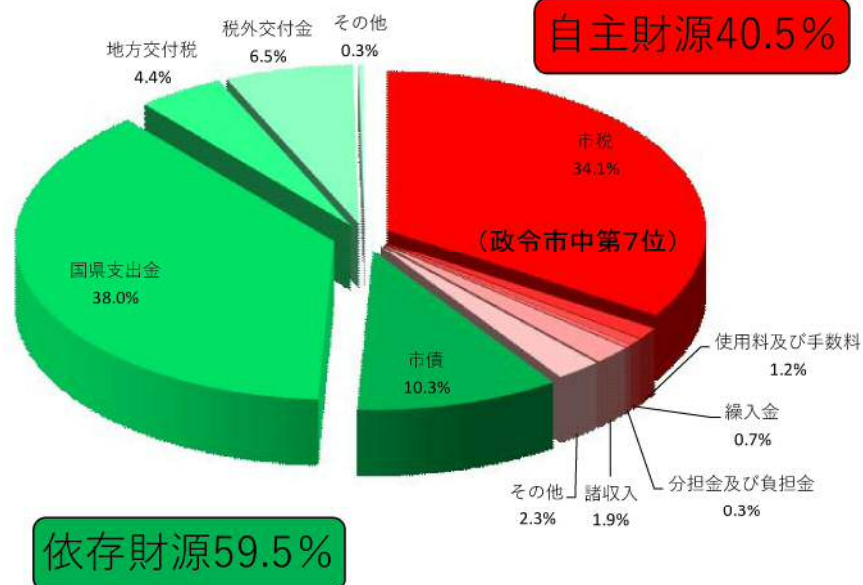
国県支出金は1,554億円で869億円(126.9%)の増。

地方交付税は179億円で前年度並み。

主な歳入の状況

(単位:億円、%)

	令和2年度	令和元年度	増減	増減率
市				
税	1,398	1,426	△ 28	△ 2.0
内、個人市民税	570	570	0	0.0
内、法人市民税	84	115	△ 31	△ 27.0
内、固定資産税	538	535	3	0.6
内、都市計画税	107	107	0	0.0
税 外 交 付 金	266	229	37	16.2
内、地方消費税交付金	160	132	28	21.2
地 方 交 付 税	179	179	0	0.0
市				
債	422	393	29	7.4
国 県 支 出 金	1,554	685	869	126.9
歳 入 合 計	4,098	3,217	881	27.4

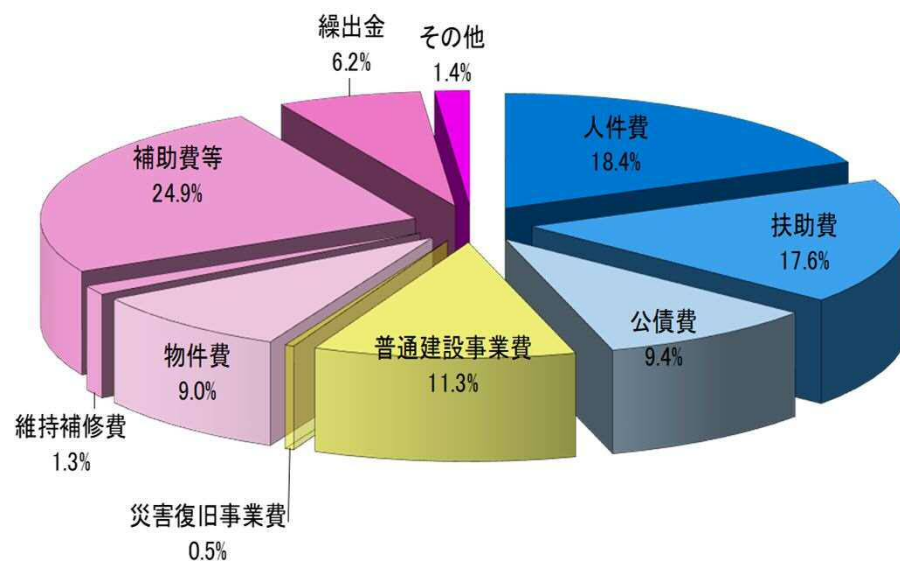


決算 ～決算の概要(令和2年度普通会計決算 歳出)～

歳出決算総額は4,014億円、前年度比878億円(28.0%)の増。

義務的経費は1,823億円で33億円(1.8%)の増。

投資的経費は473億円で67億円(16.5%)の増。



投資的経費11.8%

義務的経費45.4%

主な歳出の状況

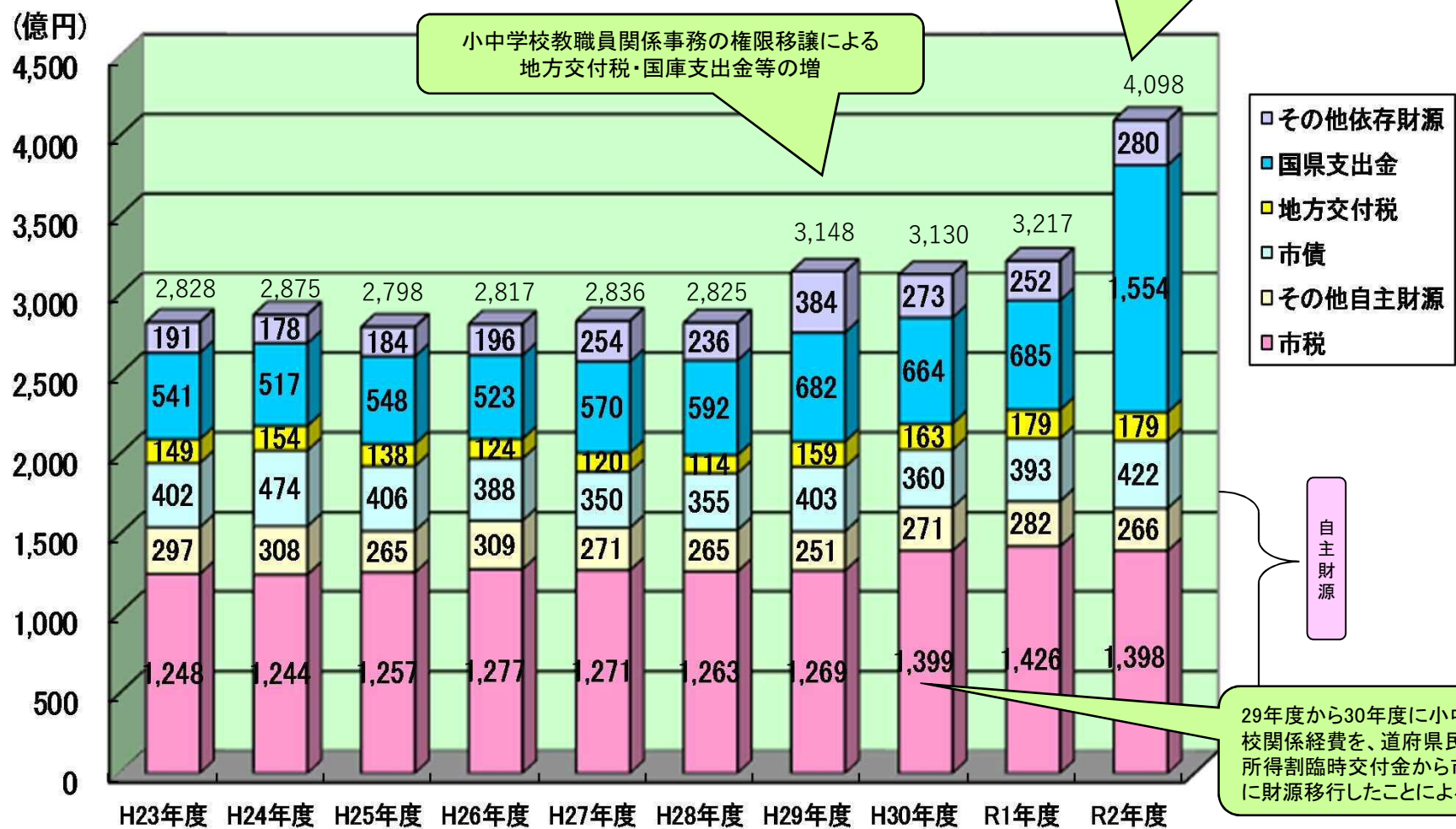
(単位: 億円、%)

	令和2年度	令和元年度	増減	増減率
義務的経費	1,823	1,790	33	1.8
人件費	740	739	1	0.1
扶助費	705	675	30	4.4
公債費	378	376	2	0.5
投資的経費	473	406	67	16.5
歳出合計	4,014	3,136	878	28.0



決算 ～決算の推移(普通会計 歳入)～

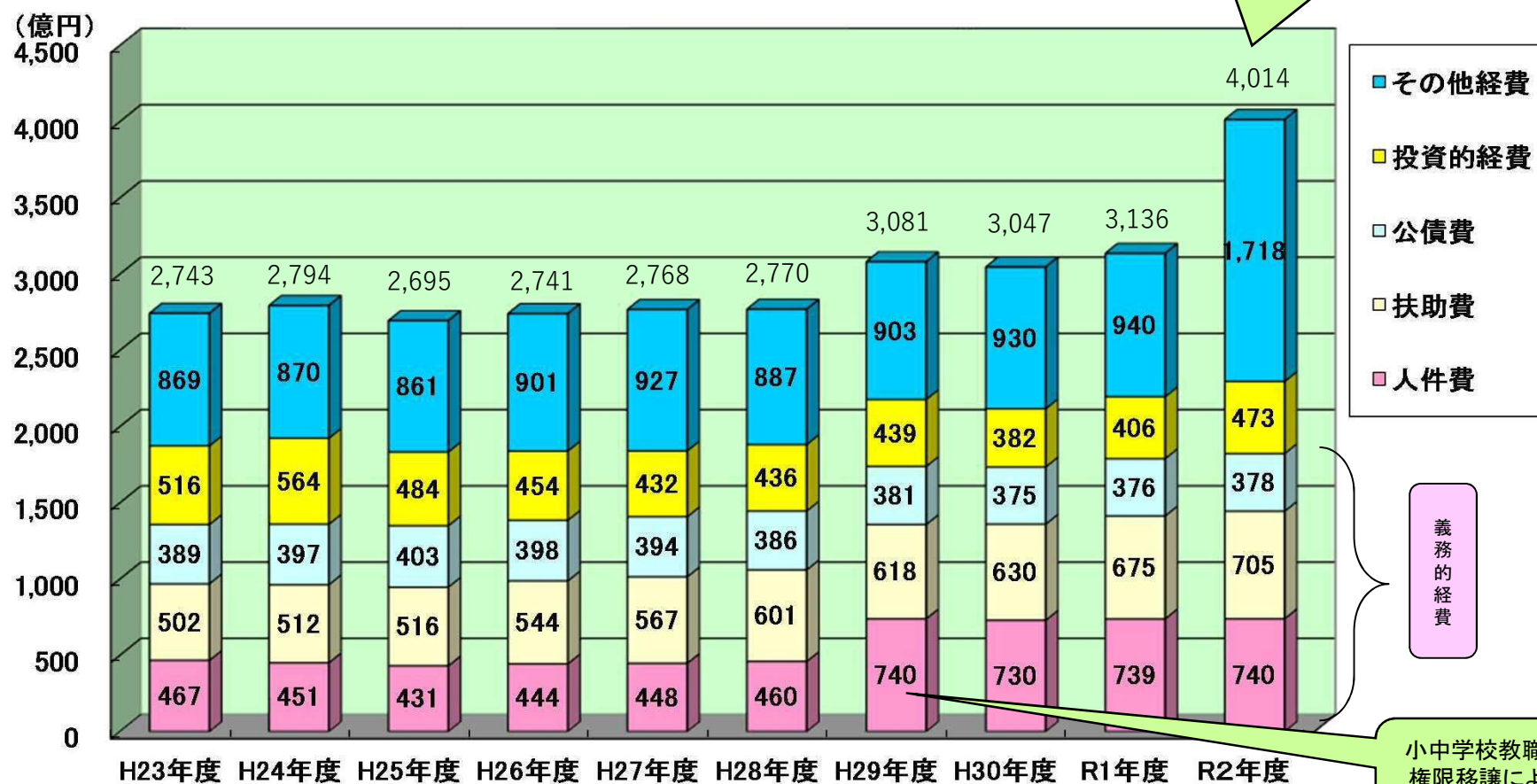
安定して自主財源を確保



静岡市

決算 ～決算の推移(普通会計 歳出)～

公債費及び人件費は横ばいで推移。
 扶助費は増加傾向。
 投資的経費は平成25年度以降、概ね400億円台で推移。



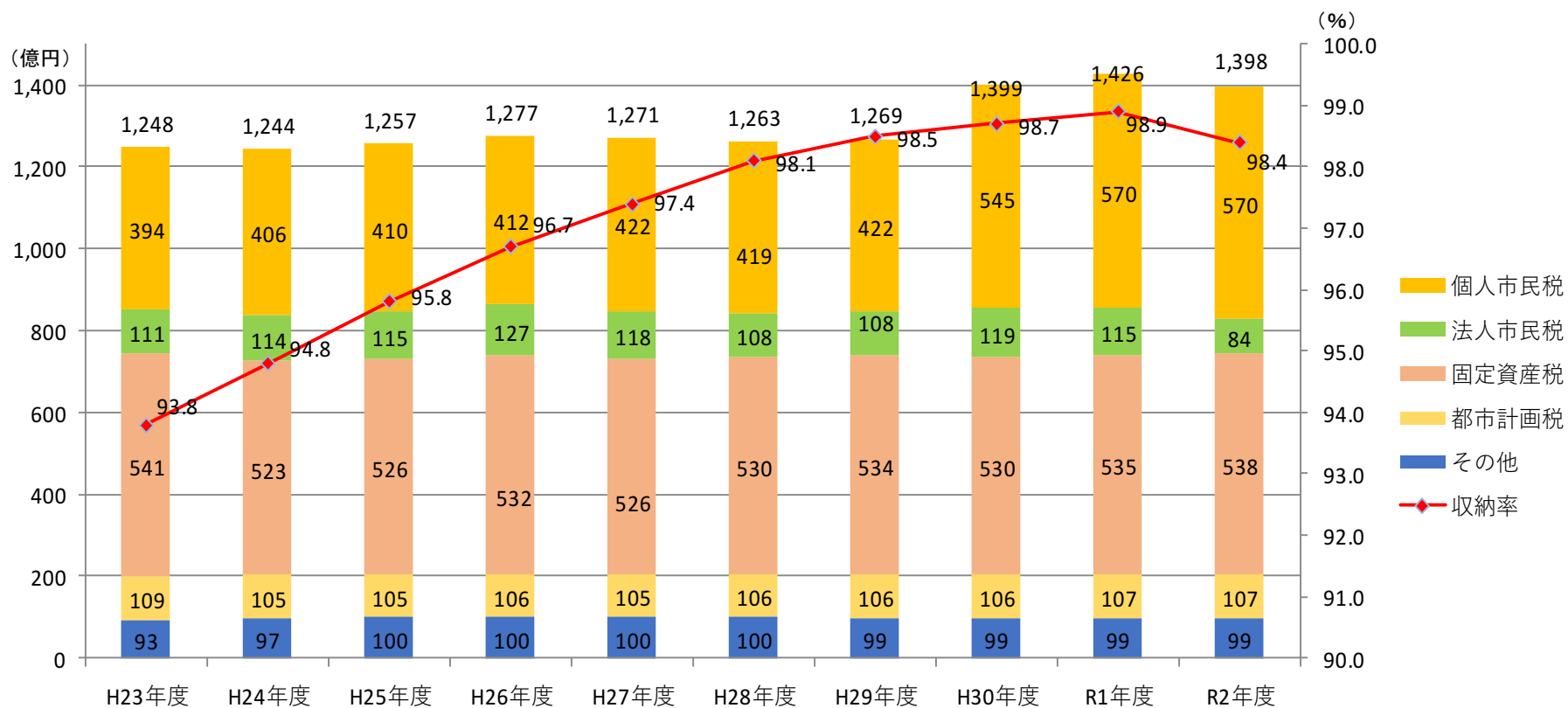
決算 ～市税の状況(令和2年度)～

総額は、法人税割の税率引き下げや法人収益の減少等により前年度より減収。

市税の収納率は新型コロナウイルスの影響等に伴う徴収猶予により前年度比0.5%減。

<収納率向上への取組>

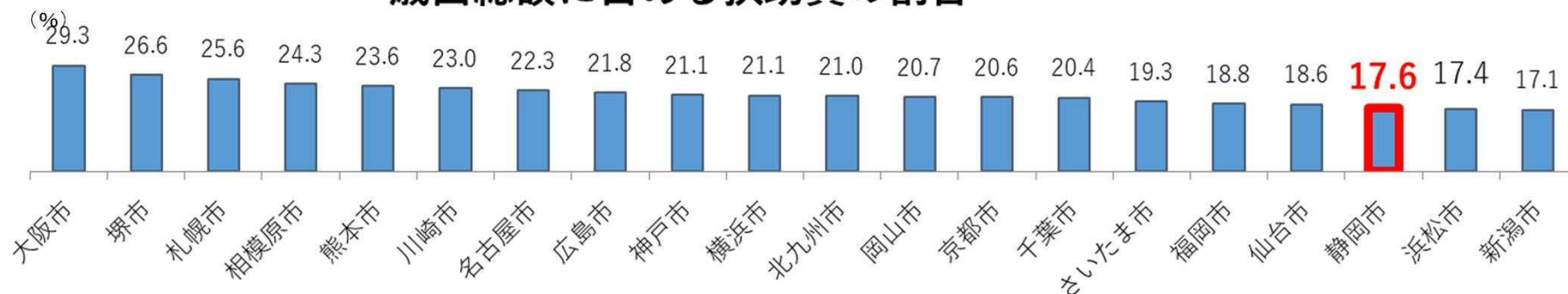
- ・滞納案件に対する早期対応の強化
- ・滞納整理事務スケジュールに沿った進捗管理の徹底
- ・専門部署を設け、不動産公売等を積極的に実施



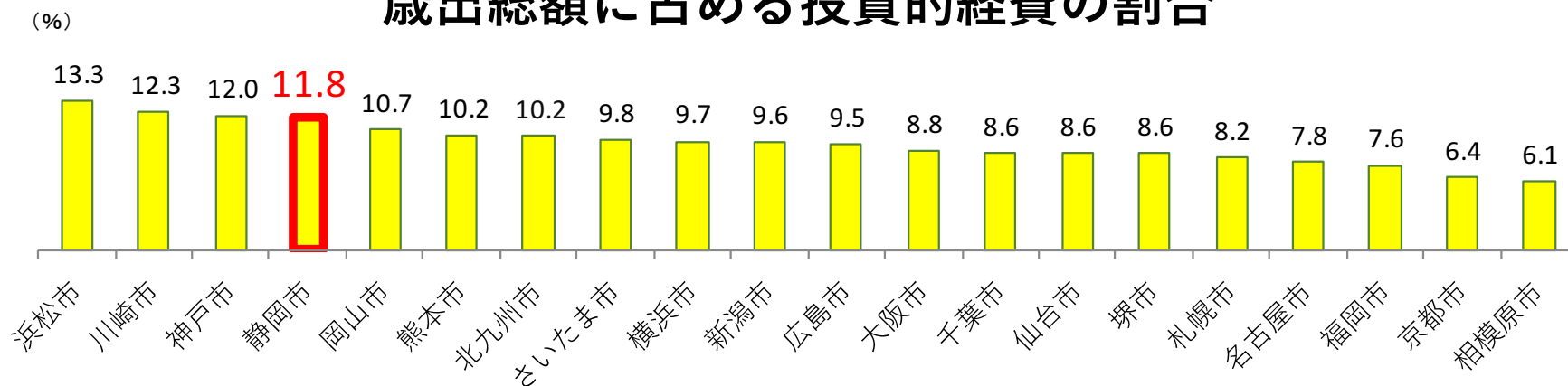
決算 ～扶助費及び投資的経費の政令市比較(令和2年度)～

歳出総額に占める扶助費の割合は、政令市中3番目に低く、
投資的経費の割合は、政令市中4番目に高い。

歳出総額に占める扶助費の割合



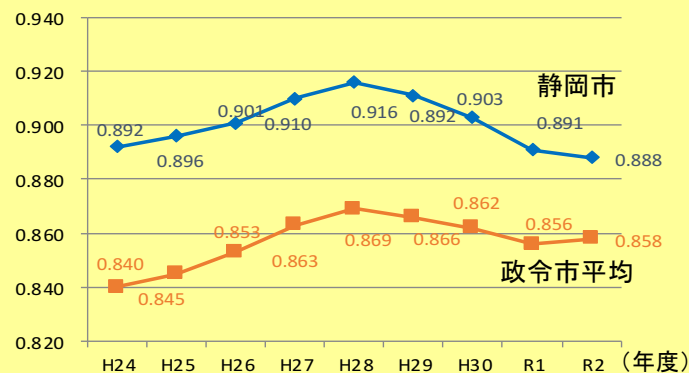
歳出総額に占める投資的経費の割合



決算 ～財政指標・健全化判断比率の推移～

財政力指数

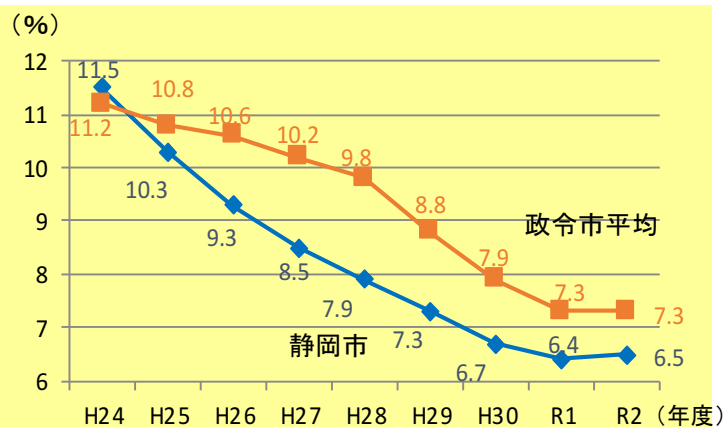
〔 H28をピークに減少傾向にあるものの、政令市平均は上回る。 〕



〔説明〕基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。数値が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きく、財源に余裕がある。

実質公債費比率

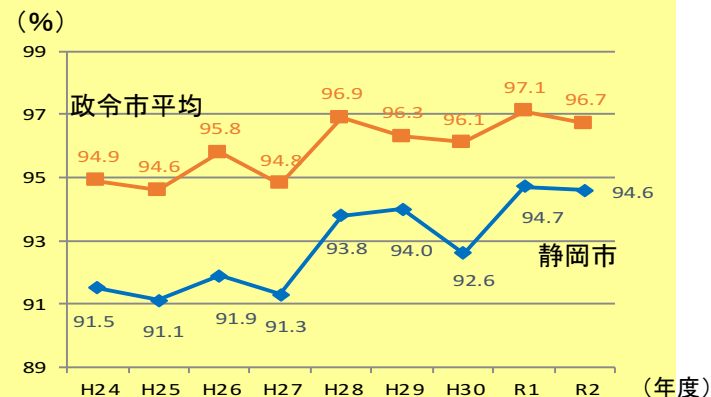
〔 近年、減少傾向にあり、政令市平均を下回る。 〕



〔説明〕1年間の収入に対する1年間に支払った公債費などの割合。数値が低いほど、公債費以外に活用できる資金が多い。

経常収支比率

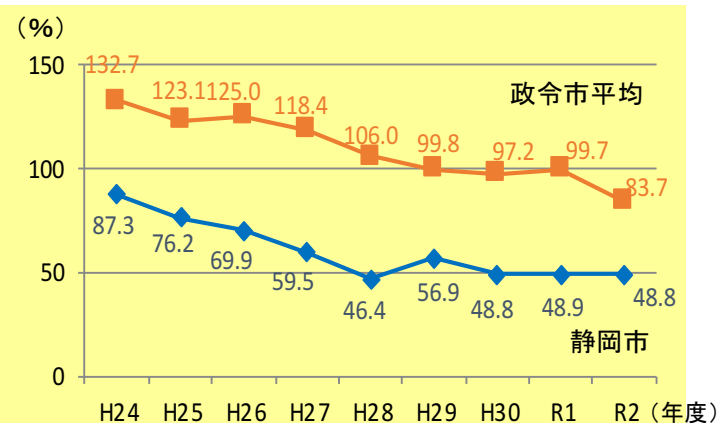
〔 H27以降は、上昇傾向にあるものの、政令市平均は下回る。 〕



〔説明〕市税などの経常的に収入される一般財編のうち、人件費などの経常的経費に充当されたものが占める割合。数値が低いほど、財政構造に弾力性がある。

将来負担比率

〔 近年、減少傾向にあり、政令市平均を下回る。 〕



〔説明〕1年間の収入に対する将来にあたり支払わなければならない公債費などの割合。数値が低いほど、将来への負担が少ない。



静岡市

決算 ～基金残高の状況(令和2年度)～

基金の現在高

293億円

(残高670億円のうち、満期一括償還積立金は377億円)

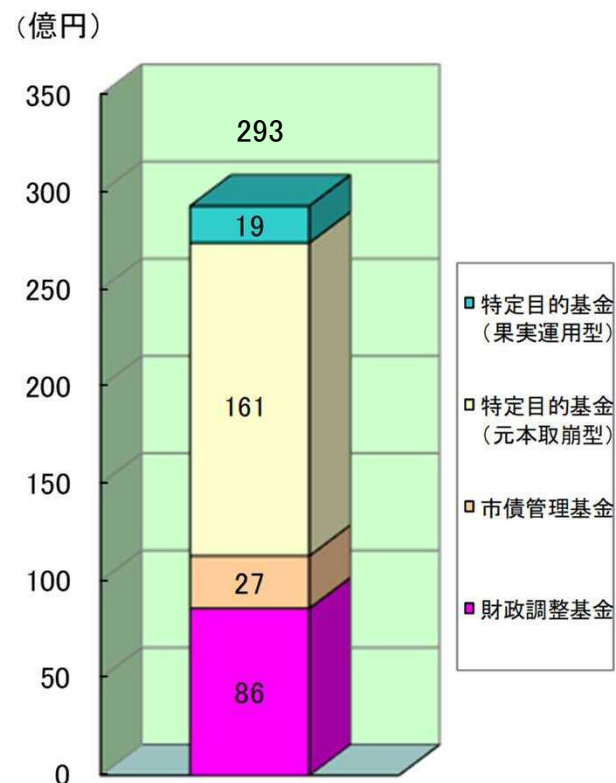
- 今後の公債費償還負担等を考慮し、年度間の財源調整を行うため、基金の残高を確保している。
- ※ 基金の現在高は、財政調整基金、市債管理基金及びその他特定目的基金の合計額。
財政調整基金 86億円、市債管理基金 27億円、
その他特定目的基金 180億円
- ※ 満期一括償還積立金377億円を含んだ場合の市債管理基金は404億円

市民一人あたりの基金残高

43千円

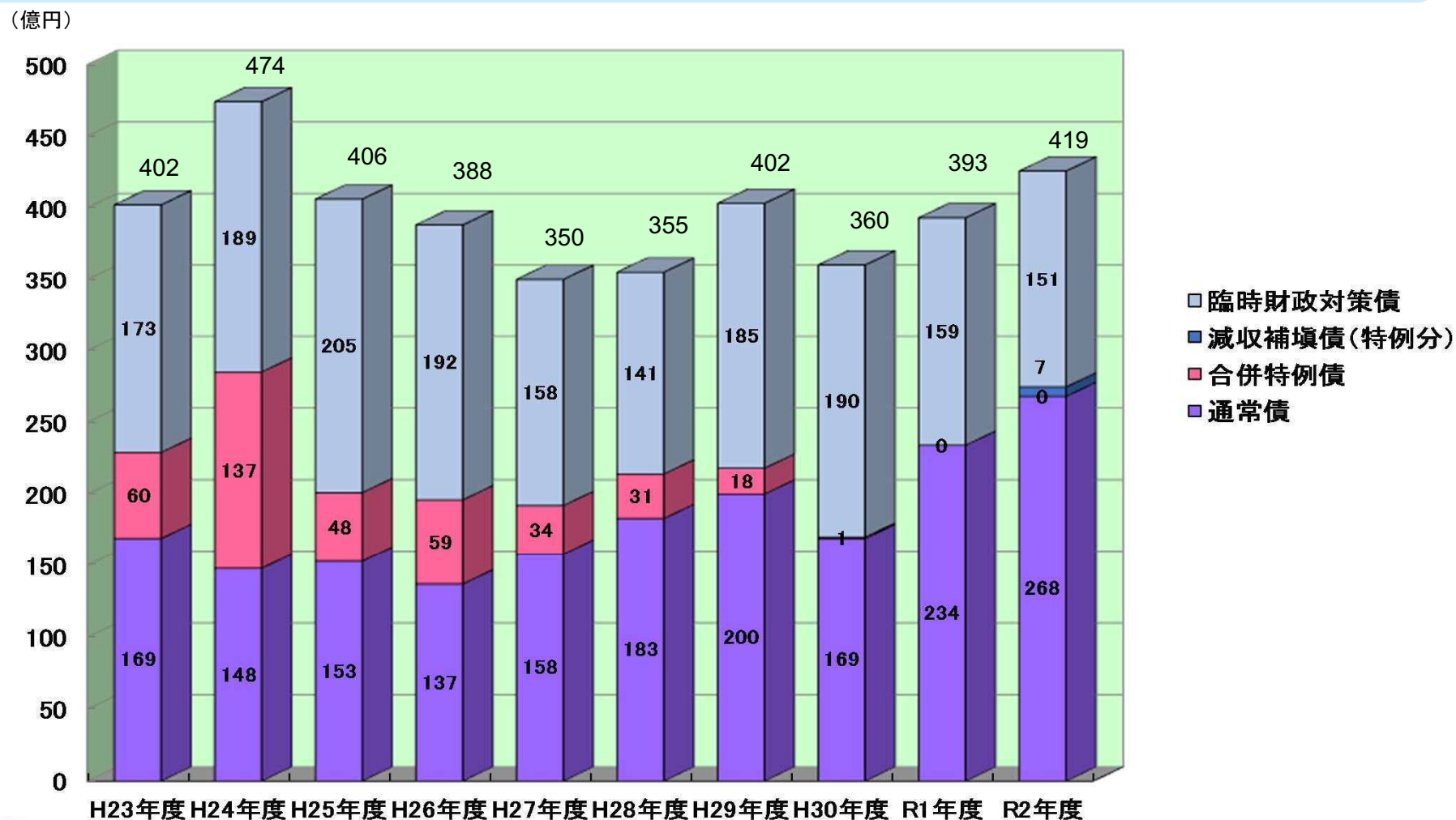
- 市民一人あたりの基金残高の政令市平均は40千円となっており、政令市の中では7番目に多い残高となっている。

令和2年度末基金現在高



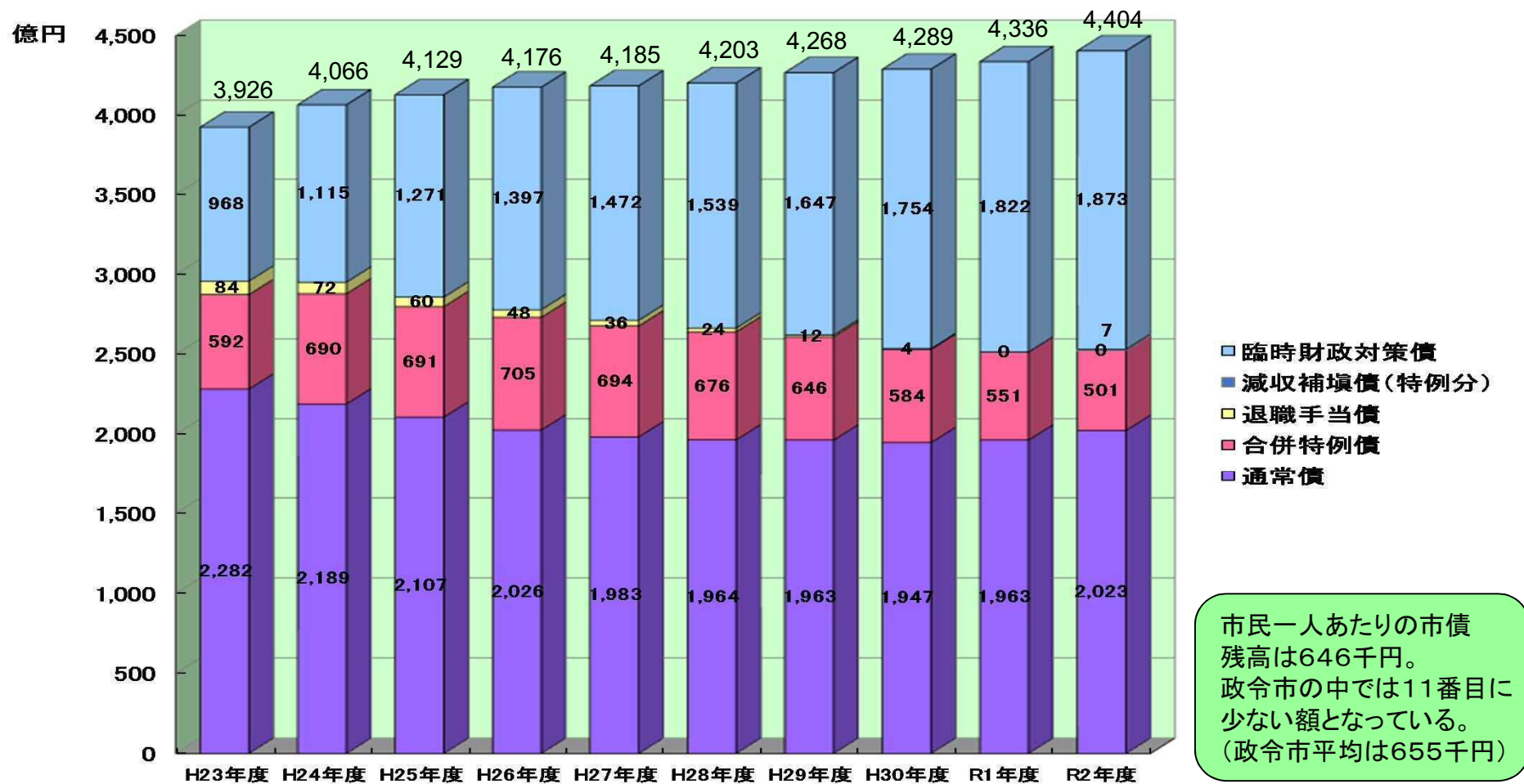
市債の状況 ～市債発行の推移(普通会計)～

事業を着実に推進するために市債を発行。令和2年度の通常債は、学校教育施設等整備事業債や一般廃棄物処理事業債などが増加したことにより増額。



市債の状況 ～市債残高の推移(普通会計)～

臨時財政対策債の累増により、市債残高の総額は増加しているものの、臨時財政対策債を除く残高は、適正な管理により減少傾向にある。

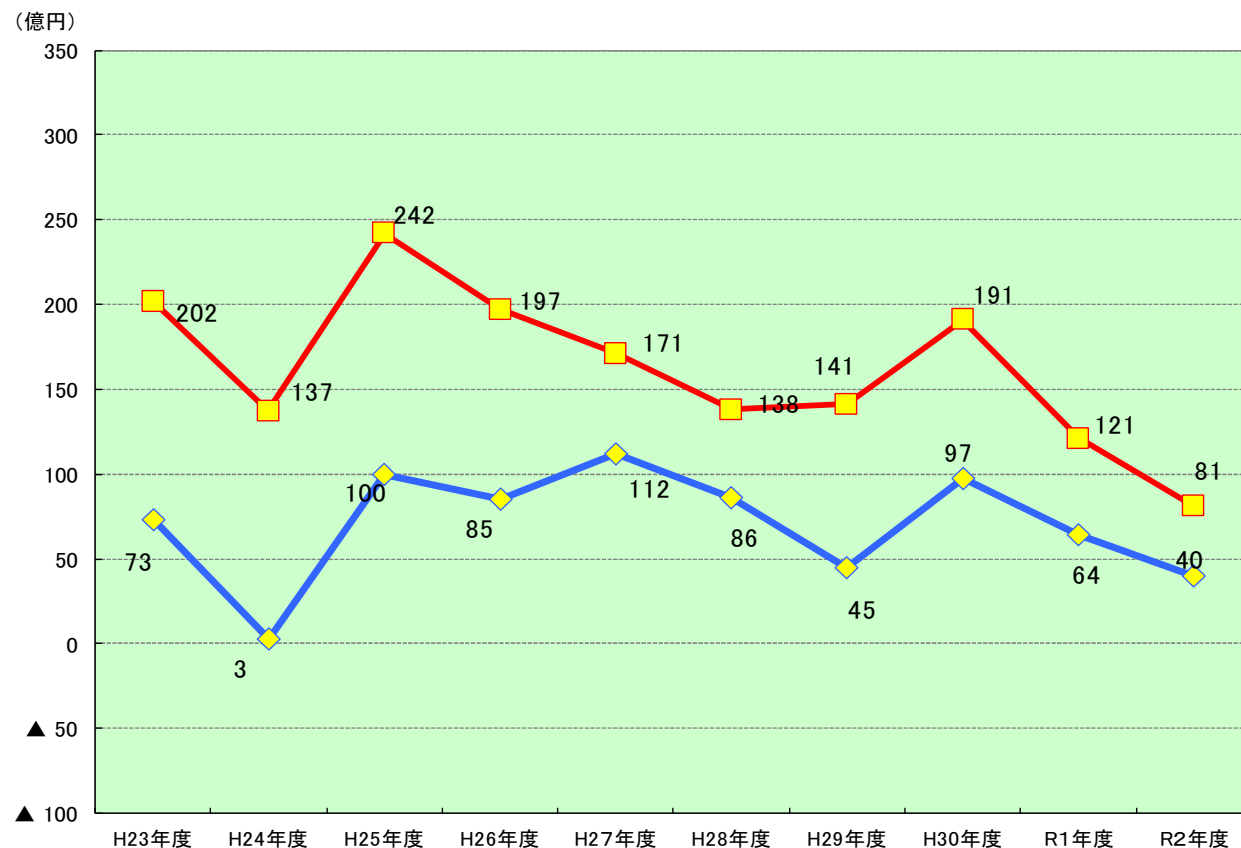


※満期一括償還方式で発行した市債の償還のための積立金は、償還したものとして市債残高から差し引いています。



市債の状況 ～プライマリーバランスの推移(普通会計決算)～

臨時財政対策債を含めても黒字を維持



プライマリーバランス(基礎的財政収支)とは、市債を除いた歳入と公債費を除いた歳出との差引額。

(歳入総額－市債)－
(歳出総額－公債費)

■市債に臨時財政対策債を含めない場合
◆市債に臨時財政対策債を含む場合

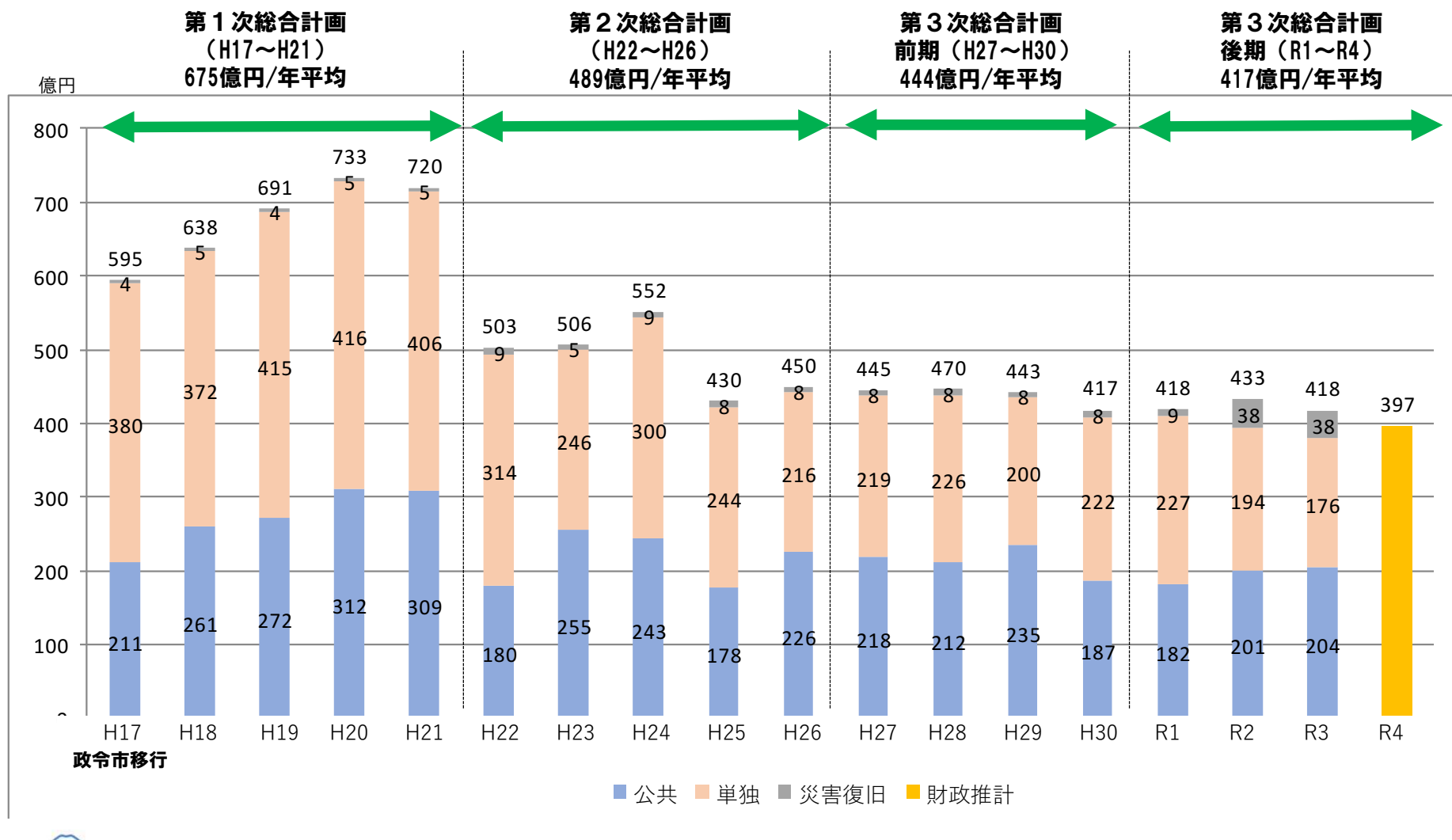
決算ベースで作成



静岡市

投資的経費の推移（当初予算ベース）

○ 投資水準を抑制しつつも一定額を確保



財政の中期見通し（令和3年2月公表）

○ 国の経済見通し等を基にした一定の条件により、令和3年度当初予算をベースに令和6年度までの財政収支を機械的に試算したもの。

1 試算の前提条件

(1) 期間及び対象

令和3年度から令和6年度までの一般会計予算

(2) 経済成長率

「令和3年度予算の後年度歳出・歳入への影響試算」(令和3年1月財務省)における名目成長率

令和3年度(令和2年度): +4.4% 令和4年度: +1.5% 令和5年度: +1.5% 令和6年度: +1.5%

2 試算方法

区 分		考 え 方
歳入	市 税	名目経済成長率×弾性値（1.1）＋税制改正等影響分 （固定資産税・都市計画税は、個別に推計）
	地方譲与税・県税交付金等	名目経済成長率×弾性値（1.1）＋税制改正等影響分 （地方特例交付金は、個別に推計）
	地方交付税 (臨時財政対策債を含む)	現行制度を前提に推計 基準財政需要額は、臨時財政対策債元利償還額及び合併算定替の影響を考慮して推計 基準財政収入額は、市税等の増減に連動
	国・県支出金	原則として歳出推計額に連動
	市 債	原則として歳出推計額に連動
	その他の歳入	原則として令和3年度当初予算に特殊要因を加味して推計（財政調整基金等5基金からの繰入金は除く）
歳出	人件費	新陳代謝等を踏まえ推計 退職手当は、現時点における退職者数の見込みに基づき推計 毎年の人事委員会勧告による影響額は反映していない
	扶助費	これまでの推移等を踏まえ個別に推計
	公債費	既発行分は積上げ 新規発行分は、10年債の利率1.0%を基準に推計
	投資的経費	第3次総合計画後期実施計画の進捗を踏まえ推計 災害復旧事業、その他の経費については、令和3年度当初予算をもとに推計
	その他の経費	原則として令和3年度当初に特殊要因を加味して推計 他会計繰出金は、個別に推計



3 試算状況

(単位:億円)

区 分		令和2年度 2月 現計予算	令和3年度 当初予算	令和4年度	令和5年度	令和6年度
歳 入	市 税	1,389	1,325	1,364	1,374	1,373
	地方譲与税・県税交付金等	273	300	290	292	291
	地方交付税(臨時財政対策債を含む)	328	387	353	338	340
	国・県支出金	1,622	774	737	737	741
	市 債	283	244	202	232	224
	その他の歳入	288	212	205	203	199
	歳入合計(A)	4,183	3,242	3,151	3,176	3,168
歳 出	人 件 費	769	783	763	758	753
	扶 助 費	762	751	764	780	795
	公 債 費	376	374	377	378	380
	投資的経費	482	418	397	420	400
	その他の経費	1,794	971	926	920	924
	歳出合計(B)	4,183	3,297	3,227	3,256	3,252

財源不足額(A-B)	0	△55	△76	△80	△84
基金充当額		55			

年度末基金残高見込額	116	61			
------------	-----	----	--	--	--

年度末市債残高見込額	2,646	2,642	2,654	2,710	2,757
(臨時財政対策債込み)	(4,540)	(4,642)	(4,725)	(4,838)	(4,956)

経常収支比率	96.1%	96.3%	96.3%	96.6%	96.8%
実質公債費比率	6.3%	6.1%	6.2%	6.3%	6.5%

※満期一括償還方式で発行した市債の償還のための積立金は、償還したものとして市債残高から差し引いています。

4 今後の対応

・第3次行財政改革推進大綱(平成27～令和4年度)に基づく取組の実施

(事務事業の見直し・統廃合、官民連携の推進及び民間活力の活用、公共事業等のコスト縮減、自主財源の確保、
市債発行額の抑制・市債残高の適正な管理、地方公営企業の経営改善)

・アセットマネジメント基本方針(平成26～令和25年度)に基づく第1次アクションプラン(平成29～令和4年度)の着実な実施

・雇用拡大・就労促進・健康づくりなどによる扶助費(生活保護扶助費等)の大幅な増加への対応 ・利用可能な基金等の活用



静岡市

お問い合わせ先

静岡市財政局財政部財政課

〒420-8602

静岡市葵区追手町5番1号

TEL 054-221-1026

FAX 054-221-1749

E-mail zaisei@city.shizuoka.lg.jp

※ 本資料に掲載する内容について、無断複写・転載はご遠慮ください